



ボランティア国際年



2001

2001年は ボランティア国際年です

協賛事業を募集しています。くわしくは次ページをご覧ください。



ボランティア国際年の
マスコットキャラクターです。

市民活動に関するイベントスケジュール

6月～7月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

今月のよびかけは4件です。興味のある分野があれば、気軽に連絡してみてください。

フリーマーケット情報

【NPO担当から】

今月分の申請は6団体、

今までに成立したNPO法人は78団体です。

NPO担当では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

助成金ニュース

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。

今月号は9件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

にし ようじ
西 要司さん

宮川村の初夏を彩る「ホタルまつり」。この企画の初代実行委員長が西要司さんです。「地域に少しでも明るい話題を提供したい」、「宮川村の美しい自然を都会の人にも知ってもらいたい」と考えた若者十数人が始めたホタルまつりも今では住民と行政が一体となって催す大きなイベントになりました。

予告・次号から、三重県内に続々出来てきた、市民活動支援センターや地域の市民活動のネットワークをご紹介しますシリーズが始まります。第1回は、桑名市の市民活動ネットワーク平成の町割会です。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

発行

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981・5982・

5983

Fax.059-222-5971

E-mail open@mienpo.net

県NPO室ホームページ

http://www.mienpo.net/



ボランティア国際年

2001年ボランティア国際年

みえ協賛事業募集!

2001年にボランティアに関する事業を計画されている団体のみなさん、ボランティア国際年みえ協賛事業として、みえ推進協議会に登録をお願いできませんか。

2001年1月から12月の間に取り組まれるボランティア事業で「ボランティア国際年」にふさわしいものであればOKです。みえ推進協議会もその事業の情報発信のお手伝いをさせていただきます。事業内容のわかる資料を添えて事務局までご提出ください。

問い合わせ先 / 2001年ボランティア国際年みえ推進協議会 514-0009 津市羽所町700 アスト津3F 三重県ボランティアセンター内

Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635

E-mail mvc@miewel.or.jp

ホームページ <http://www.mienpo.net/iyv2001/>

を使用した場合の恐ろしさと危険性を分かりやすく、そしてリアルに描いています。また、若者を薬物汚染から守るための啓蒙運動の一環という目的の教育的映画にだけに止まらず、現代の若者流行の最先端から、青少年が抱えている問題までを取り上げています。

募集人数 / 270人程度

問い合わせ先 / (社)三重県青少年育成県民会議(担当:一ノ木)

Tel.059-225-6194 E-mail sanseken@alles.or.jp

「地球交響曲(ガイアソフオーニー)第二番」 映画鑑賞と監督講演の集い

とき / 6月15日(金)

映画上映(1)PM1:00~PM3:10(2)PM5:00~PM7:10
龍村監督講演「21世紀を奏でる私の夢」PM7:30~PM9:00

ところ / 津リージョンプラザお城ホール

参加費 / 映画と講演のセットで前売2000円(当日2500円)

映画のみ又は講演のみで前売1200円(当日1500円)

内容 / 青森のステキなおばあちゃん、佐藤初女さんの日常を通じた美しい四季の移り変わりが映画の縦の糸となっています。それに導かれるように3人の人物(ジャック・マイヨール=素潜り水深100メートル記録保持者、14世ダライラマ法王=ノーベル平和賞受賞者、フランク・ドレイク=世界で初めてET探査実施)が次々に登場し人生のエッセンスを語りかけます。

託児 / PM1:00上映のみ。要予約500円。

主催・問い合わせ先 / 地球交響曲を共に奏でる会(メガネのミヤザキ内)Tel.059-226-4888

後援 / 三重県、三重県教育委員会、津市教育委員会、三重県教職員組合、三重県青少年育成県民会議

ボランティア国際年協賛事業

平成のまちづくり「くわなルネッサンス」協賛事業

市民活動ネットワーク平成の町割会 設立一周年記念事業

とき / 6月16日(土)PM1:00~PM5:00)

ところ / 桑名市民会館(アピタ桑名店東隣)

参加費 / 1人600円、プレゼンテーション団体参加費用1団体600円

応募締切 / 6月11日

内容 / 市民活動ネットワーク平成の町割会に集まった寄付金10万円を市民活動団体へ提供します。提供先・金額は当日行方市民活動応援基金プレゼンテーションで決定します。応募団体は当日の参加者に活動内容をプレゼンテーションし、参加者は応援したいと思った団体に市民活動応援券「わたし」を提供するシステムです。各団体が獲得した「わたし」の累計ポイントの10倍の金額を、市民活動基金や当日参加費などを財源として各団体に応援します。会員以外の団体でもプレゼンテーションに応募できますので、ぜひ参加してください。もちろん、投票する側である参加者も募集しています。応募資格などは下記へ問い合わせいただくか、ホームページを参照してください。

申込方法 / 所定の申請用紙に記入の上、下記まで。

申込・問い合わせ先 / 桑名市今北町53 市民活動ネットワーク平成の町割会 Tel.0594-27-2700

ホームページ <http://www.watashi.gr.jp>

後援 / みえ市民活動ボランティアセンター、桑名市市民活動支援室

ひまち

夏至「日待」汐湯まつり

とき / 6月18日(月)~21日(木)

内容 / 夏至の日、太陽は新たに甦るといわれています。そしてこ

イベントスケジュール

日本の棚田百選認定

亀山市坂本地区棚田野上がりまつり

とき / 6月3日(日)AM10:00~PM2:00(雨天決行)

ところ / 坂本農村公園

内容 / 餅つき大会、写生・撮影大会(道具類はご持参ください)、語り部による棚田ツアーなどが行われます。自分でついたお餅が食べたい人はぜひ、集まって、遠い昔からの汗と涙の結晶である棚田にゴミを捨てたり、あぜを崩したりしないでください。

【坂本の棚田の背景と現状】

明治8年8月に作成された改正反別地押番号帳によると、坂本地区の田一枚あたりの面積はわずか11.7m²程度で、まさに千枚田であったと想像されます。その後、明治中期から大正末期にかけて地区一丸となり、ほぼ現在の棚田に集積をし、その後数回の改良工事を行って、現在の23ha・440枚(勾配10分の1以上)の棚田となりました。今、棚田の日常作業は60歳以上の人が行い、これによってようやく維持されています。また、傾斜度が高く、大型機械の有効活用ができず、平坦地で2、3時間でできることが1日かかりとなり、治水・利水・生態系の保全・景観保全等でその役割の重要性を指摘されている棚田ですが、その保全は容易ではありません。

問い合わせ先 / 坂本地区棚田保存会会長 星合 恒

Tel.05958-5-1375

亀山市役所商工農林課農林振興係

Tel.05958-2-1111(262)

主催 / 坂本地区棚田保存会 後援 / 亀山市、野登総合推進協議会、坂本地区自治会、坂本地区婦人会

麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン 映画『DRUG』ビデオ上映会

とき / 6月13日(水)PM6:00~PM7:53

ところ / アスト津4階アストホール(津駅前)

参加費 / 無料

内容 / 年々、覚せい剤利用者は増加の傾向を見せています。そしてその乱用は今や若者にまで広く及んでいます。この映画は、大人の常識では分からなかった若者の薬物被害による実態や、薬物

の太陽を浴び、海水に浸ることにより、私たちの魂は浄化され(癒やされ)、若々しい生命力、活力がみなぎってくるのです。そこで、夏至の前夜祭に「勢田川再発見」をテーマに、リバーコンサートを開催いたします。なお、期間中は銭湯の元祖・伊勢と市翁像の公開、銭湯のはじまり伊勢～江戸の様子を展示します。

【プログラム】

『20日(水)PM7:00～』勢田川再発見!

与市里帰り夏至の潮水二見浦の海水を汲む船が启航。启航を祝い、河崎踊り連有志の伊勢音頭・木遣りを披露。

『21日(木)AM4:00～』夏至「夫婦岩日の出」参加者募集!

夫婦岩の東雲の光に触れ、浜でみそぎ・健康づくりをしませんか。参加者には、夏至の朝日を浴びた海水風呂でリフレッシュ!

問い合わせ先 / 伊勢市神久1-1-16 勢田川・清浄坊橋前 汐湯・おかげ風呂館旭湯 Tel.0596-25-1126(営業時間 / 正午～AM12:30)

主催 / 伊勢と市顕彰運動実行委員会 後援 / 伊勢市協力団体 / 伊勢管弦楽団、河崎南側踊り連(有志)、河崎まちなみ衆、ザ伊勢講

くらしたすけあいの会講演会

『地域福祉とボランティア活動』

～地域の中で支え合いの関係づくり～

とき / 6月19日(火)AM10:00～正午

ところ / 三重教育文化会館5階大会議室

参加費 / 300円

内容 / 地域福祉を考える上で、地域の幅広いボランティア活動なしに語ることはできません。例えば、くらしたすけあいの会をはじめ、市民活動、NPOなど…。今回、「こーぷこーべ」こーぷくらしの助け合いの会」での17年間のコーディネーター活動でスーパーバイザー的役割を果たされ、現在ではヘルパー研修の講師を務めるなど、常に最先端で活動をしてこられた千田明美さんに地域福祉の現場からお話しいただきます。

申込・問い合わせ先 / 三重県民生協くらしたすけあいの会
Tel.0598-51-9221 Fax.0598-51-9331

第3回心の教育講演会 心を輝かせるヒント

子育ては何歳からでも間に合う...

とき / 6月24日(日)PM1:30～PM4:00

ところ / アスト津内4Fアストホール(津駅前)

参加費 / 1000円(託児有・無料)

内容 / 心で何かを想うと、エネルギーが循環します。人の幸せや感謝の想いを持つとよいエネルギーが回転し、反対に怒りや愚痴る想いなどを持つと悪いエネルギーが流れます。家庭、学校、職場などでプラスのエネルギーを回転させる正しい心のあり方、胎教、育児の具体的な方法など実体験を交えての楽しい講演会です。育児等で困っているお母様、家庭や職場の人間関係に悩んでいる方、肝っ玉母さんのような北村弥枝(教育研究会未来主宰)講師の講演を聞いて心をリフレッシュさせてみませんか。第2部の質疑応答では明快な答えを出していただけることと思います。

問い合わせ先 / 栗田 Tel.0593-45-0392

大西 Tel.059-224-6407

主催 / 教育研究会未来 後援 / 三重県、三重県教育委員会、津市教育委員会、四日市市教育委員会、久居市教育委員会、中日新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送

レイチェル・カーソン

『センス・オブ・ワンダー』上映会と講演会

とき / 7月20日(祝)PM1:00～PM4:00

ところ / 嬉野町ふるさと会館大ホール

参加費 / 前売り1000円(中学生以上) 当日1200円

内容 / 農業や化学物質による環境汚染の実態をいち早く世に知らしめた『沈黙の春』の著者レイチェル・カーソンのエッセイ『センス・オブ・ワンダー』の朗読ドキュメンタリー映画の上映会と訳者・上遠恵子氏の講演会を行います。子どもの頃より、自然と関わるなかで育まれた「センス・オブ・ワンダー」(神秘さや不思議さに目をみはる感性)が、やがて、彼らが大人になったとき環境を守っていく主体となる力を育んでくれると信じています。その道は、時間がかかるようで、実は、一番の近道ではないでしょうか?内容については、ホームページ <http://www.webfront.ne.jp/senseofwonder/>でもご覧になれます。当日、託児もあります。(要申込・締切7月17日)詳しくはTel.0598-42-6760西川まで。

上映会のみは、8月1日に四日市でも行われます。問合せ Tel.0593-53-2482須崎さん

問い合わせ先 / 茅谷 Tel.&Fax.0598-42-8135

E-mail coppice1@muse.ocn.ne.jp

主催 / 嬉野町「センス・オブ・ワンダー」上映実行委員会

『センス・オブ・ワンダー』MAPをつくら

親子で楽しめる自然のスポット、そこに人のいる自然観察会などの情報を送ってください。上映会をする嬉野町を中心に日帰りでも無理なく出かけられるところを紹介ください。- 子連れで楽しめる自然 - がテーマです。みなさまから寄せられた情報をもとに『センス・オブ・ワンダー』MAPをつくり、7月20日嬉野町で開かれる上映会当日にお渡しする予定です。たくさんの親子が「センス・オブ・ワンダー」を育み、かけがえのない自然を次世代に残しておこうと考えてくれることを願っています。嬉野町「センス・オブ・ワンダー」上映実行委員会

応募締切 / 6月末

送り先 / 515-0073 松阪市殿町1563 松阪市立中央公民館内 松阪子どもセンター・あそびい～ず

Fax.0598-25-2250 E-mail asobiizu@sysnet.ne.jp

私の「センス・オブ・ワンダー」募集中!

あなたが感じた「自然の神秘、不思議さ、驚き、しくみのおもしろさ」など、これぞまさに「センス・オブ・ワンダー」の世界と思われたことをお聞かせください。200字程度にまとめて、下記までお送りください。上映会当日、一部紹介させていただきます。匿名ご希望の方はその旨お書きください。

送り先 / 515-2515 一志郡一志町八太735 新家直美
Fax.059-293-2287

E-mail coppice1@muse.ocn.ne.jp

ネットワークのよびかけ

三重県主催

要約筆記奉仕員養成講座の

受講生を募集しています

手話によるコミュニケーションの手段を持たない聴覚障害者に対し、文字による「情報保障」をめざし、要約筆記者を養成することにより、聴覚障害者の社会参加と福祉の増進を目的とします。対象者は要約筆記奉仕員として活動する意欲のある方で、全日程出席できる方です。パソコン要約筆記の受講を希望される方は以下の条件を満たす方を対象とします。(1)ノートパソコンを持参できる方 (2)タッチタイピングができて、400字を5分以内に入力できる方 (3)基本操作のできる方

とき / 7月14日(土)～平成14年2月16日(土)の間の土曜日 延べ11日間 AM10:00～PM4:00(休憩1時間)

ところ / 三重県人権センター(津市一身田大古曾)

募集人数 / 手書き要約筆記30名、パソコン要約筆記10名(申込者が多数の場合は抽選)

応募締切 / 6月15日(金) 消印有効 参加費 / 無料

申込・問い合わせ先 / 三重県障害保健福祉課

Tel.059-224-2276 Fax.059-228-2085

「よっかいち子育てエンジョイブック」配布のご案内

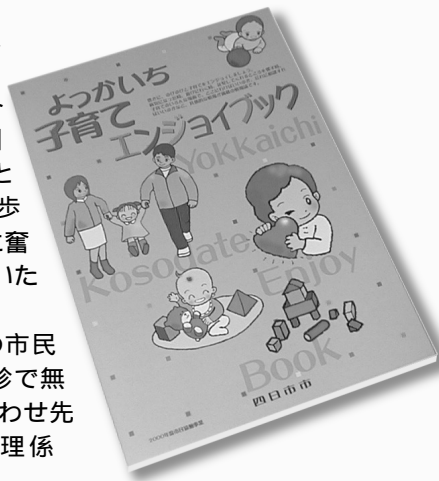
「よっかいち子育てエンジョイブック」とは、四日市市とその周辺にお住まいの子育て中の方が、本当に必要としている情報を集め本にまとめたものです。四日市市児童福祉課と市民団体とが対等なパートナーシップの元に協働事業として、企画・調査・編集したもので10,000部発行され、無料で配布されています。

内容は大きく「からだ」「こころ」「あずける」「まなぶ・あそぶ」の4つのパートに分かれています。また外国語版も巻末に掲載されています。乳幼児の親だけでなく「心の相談窓口」など、小・中学生のお子さんのいる方にも役立ちます。

昨年の9月に市民団体による企画委員会が発足し、編集を進めてきました。編集にあたっては、できるだけ多くの市民の意見を反映させようと、市民モニターを公募し、子育て経験からの意見や報告をお寄せいただきました。

また、情報誌を制作する過程自体が、色々な市民活動をしている方々とのネットワークづくりであり、また四日市市との協働は、市民と行政との連携の小さな一歩になりました。ぜひ子育てに奮闘されている方に、ご活用いただきたいと思っています。

入手方法 / 四日市市の市民地区センターや乳幼児検診で無料配布されます。お問い合わせ先 四日市市児童福祉課管理係 0593-54-8173まで



津市市民活動センターからのお知らせ

本日の寄付をお願いします。津市市民活動センターもオープンして2ヵ月を迎え、徐々にセンターの利用者も増えています。このほど、利用者へのサービス向上の一環として、本とビデオの貸し出しサービスを開始することになりました。

つきましては、さらに本の数を増やしたいと、本の寄付を募っています。市民活動やボランティア活動を中心とした本を中心にお届けしたいと思います。また、広い板敷きスペースが子どもたちに大評判のキッズコーナーにも、絵本など子ども達向けの本も置きたいと思っています。本をご寄付いただける方ございましたらご連絡ください。手品教室の開催

津市市民活動センターを会場に、6月13日(水)から桂三発さんの指導により『だれでもできる桂三発の大魔術団』と銘打った、初心者向けの手品教室が開催されます。

とき / 毎月第二水曜日、午後7時ごろから9時まで。

参加費は無料。但し、覚えた魔術はなるべくボランティア活動、市民活動にも活用していただきたいと思っています。

.....

問い合わせ先 / 津市市民活動センター事務局 津市大門7番15号津センターパレス3階 Tel.059-213-7200 fax.059-213-7201 e-mail tsusimin@zvtv.ne.jp

地産地消ネットワークみえ プロジェクト活動の募集

募集期間 / 前期:5月21日(月)~6月15日(金) 後期:8月20日(月)~9月14日(金)

募集対象 / 「地産地消ネットワークみえ」に所属する団体(グループ)個人。

地産地消ネットワークみえとは...地域で生産される農林水産物を地域で消費しようとする運動を進め、三重県らしい自然と豊かな食文化を守り、健康で安心して暮らせる社会づくりに貢献していこうとする団体です。考え方に賛同される方々を広く募集しています。

対象となる活動 /

1. 地元の食材を学校給食に活用する取り組み
 2. 県内産の安心できる農林水産物が見分けられるような表示の検討
 3. 地元食材を使った料理教室の開催
 4. 台所の生ごみを堆肥化し地域の農地に還元するシステムづくり
 5. 朝市の開催日時などの情報発信
 6. 県内産品やこだわりの店のガイドマップづくり
 7. その他地産地消に関する事でネットワークみえが承認する事業
- 内容 / 『対象費目』謝金、講師旅費、消耗品費、会場・器具等使用料、通信運搬費、印刷費、保険料

・対象額:上限50万円(100%)

応募方法 / 申請書類を地産地消ネットワークみえ事務局へ提出 申請書類は、(財)三重県農林水産支援センターのほか、県民局農林(水産)商工部・農政部にもあります。

問い合わせ先 / 514-1101久居市明神町2501-1

(財)三重県農林水産支援センター内 地産地消ネットワークみえ事務局(萩原・江藤・山中) Tel.059-259-0859 Fax.059-

第10回全国ボランティアフェスティバルかながわ「ボランティア活動記録コンクール」

..... 応募作品募集中

テーマ「発信! 私たちのボランティア活動」

あなたが現在続けているボランティア活動の記録をお寄せください。(例)・高齢者や障害者の生活支援や交流に関わるボランティア活動の記録

- ・子どもに関わるボランティア活動の記録
 - ・地域のまちづくり・地域づくりに関わるボランティア活動の記録
- なお、2001年は「ボランティア国際年」であることをふまえ、草の根の国際交流・支援活動や国際的な広い視野から展開しているボランティア活動の記録もあわせて募集します。

応募資格 / ボランティア活動に参加している方であれば、どなたでも応募できます。

応募締切 / 7月19日(木) 必着

申込・問い合わせ先 / 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター「ボランティア活動記録コンクール」係 100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル Tel.03-3581-4656 Fax.03-3581-7858

フリーマーケット情報

【ポルタひさいフリーマーケットの予定】

とき / 6月24日(日)AM10:00~PM3:00(雨天中止)

ところ / 近鉄・久居駅前ビル「ポルタひさい」西・南側歩道上

問い合わせ先 / 小森悦司 Tel.090-5113-1114

E-mail crm2000@zvtv.ne.jp 主催 / 久居フリーマーケット連絡会

..... 【中勢フリーマーケット協会の予定】

「弁天山公園」

とき / 6月3日(日)AM9:30~PM3:30(雨天6月10日予定) 雨天時ハシ

ター展示場内にて開催する事があります
 ところ / 弁天山公園(ハンター横)
 参加費 / 会員1300円 一般1500円
 「河芸マリーナ 音と光の祭典」
 とき / 6月9日(土) 正午 ~ ~ PM9:00(雨天中止)
 参加費 / 正午 ~ PM4:00 1000円、正午 ~ PM9:00 2500円
 「鈴鹿白子ジャスコ南駐車場」
 とき / 6月8日(金)、9日(土)、10日(日) AM10:00 ~ PM6:00(途中退場可)
 ところ / 鈴鹿白子ジャスコ南駐車場
 参加費 / 1ブース1500円
 申込方法 / 出店、会員申込とも、直接次の郵便振替口座に振込を。通信欄に希望ブース数、日付、場所を書いてください。
 中勢フリーマーケット協会口座 00870-0-121921
 問い合わせ先 / 安芸郡河芸町2434-5 中勢マーケット協会
 Fax.059-245-2536 Tel.(携帯)090-7027-4334
 『平成13年度会員募集』
 新規会員は入会金1000円と年会費1500円を振り込んでください。更新会員は年会費のみ。

(3)西村郁子、(4)阿山郡伊賀町大字柘植町2407番地の10
 (5)平成13年7月14日まで、(6)設立、(7)この法人は、介護を必要とするお年寄りや障害のある人達が、住み慣れた町で自宅のような雰囲気のある家で、仲間や近隣の人と共に生きがいを持って過ごせるよう、必要な介護サービスの提供を行い、皆が安心して暮らしていける地域社会の実現に努め、もって福祉の増進に寄与することを目的とする。
 (平成13年4月16日から平成13年5月15日申請分)

助成金 ニュース

(財)さわやか福祉財団 「電動アシスト自転車購入助成事業」

予備調査締切 / 5月30日(金)
 助成の対象となる団体 / NPO法人格を取得し介護保険指定業者として活動を行う団体
 助成の額 / 団体の活動支援として「電動アシスト自転車(機種は財団で指定)の購入費用の4分の3を助成します。(1団体につき1~3台)
 応募方法 / 指定の予備調査に記入し、Fax又は郵送にて下記へ送付。折り返し申請書を送り返します。
 問い合わせ先 / (財)さわやか福祉財団 組織づくり支援グループ(白石・木原)105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館4階
 Tel.03-5470-7751 Fax.03-5470-7755

平成13年度下期「がんばれNPO!」プロジェクト

受付締切 / 6月22日(金) 消印有効
 助成の対象となる団体 / 市民ボランティア運動を推進およびそれらの活動を支援するNPO法人、または公益法人。
 助成の対象となる活動 / 1、高齢者および障害者福祉の増進を図る活動 2、環境の保全を図る活動 3、青少年の育成を図る活動
 助成の額 / 助成対象事業に要する支出額の80%以内とし、200万円を上限額とします。
 応募方法 / (1)郵送の場合...「応募書類郵送希望」と明記の上、団体名・代表者名・郵便番号・住所・電話番号を記載し、切手200円分を貼付した返信用封筒(角型2号)を同封して、6月15日(金)までに下記事務局宛に郵送してください。折り返し応募書類を送付します。
 (2)インターネットの場合...下記から、応募書類がダウンロードできます。
 (社)日本フィランソピー協会
<http://www.philanthropy.or.jp/activities/support/npo.html>
 (財)たばこ産業弘済会
<http://www.jtnet.ad.jp/WWW/JT/JTI/contribution/npo.html>
 なお、所定の応募書類のほか、添付書類の提出も必要ですので下記までお問い合わせください。
 応募・問い合わせ先 / 社団法人 日本フィランソピー協会内「がんばれNPO!」プロジェクト事務局(担当/佐々木)
 106-0041 東京都港区麻布台2-3-8 丸山ビル7階
 Tel.03-3568-3241 Fax.03-3568-3245

野村国際文化財団 芸術文化助成

受付締切 / 6月25日(月) 必着
 助成の目的 / 国際社会における真の相互理解の実現のために、音楽・美術分野における人材育成活動及び国際交流活動に対しての助成を行います。
 助成の対象となる活動 /
 1、【美術】既存美術館の開催する展覧会のうち、特に教育的色彩を重視するものに対する助成。その他、美術教育に係わる催事への助成。
 2、【音楽・オペラなど】オーケストラ、室内楽、独奏、合唱などの活動で教育プログラムを重視した催事への助成。音楽家の海外留学または研修への助成。音楽普及と向上を目的とした国際的助成活動の助成。
 3、芸術文化の国際交流を目的とする活動や催事開催への助成。
 助成の対象となる団体・個人 / 助成対象となる活動を行う団体および個人。外国人の場合は日本国内における受け入れ責任者(団体)が代わって申請。
 助成対象事業の期間 / 上半期(平成12年10月~平成13年3月)の活動。上半期(4月~9月)の活動は12月に募集があります。
 選考基準 / 書類審査。必要な場合は面接を行うともあります。音楽(個人)で応募の場合は自己のデモンストレーションテープを準備してください。
 応募方法指定の応募用紙を請求。必要事項を記入し郵送。
 問い合わせ先 / (財)野村国際文化財団事務局 103-0027 東京都中央区日本橋1-9-1 Tel.03-3271-2330 Fax.03-3281-8522

みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は6団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。
 申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

認証申請団体
 (1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種別、(7)定款に記載された目的。

【87】

(1)平成13年4月18日、(2)特定非営利活動法人花里、(3)里中俊雄、(4)四日市市小山町2727番地、(5)平成13年6月18日まで、(6)設立
 (7)この法人は、花・樹木など植物と触れ合うことにより青少年の健全育成を図るとともに、花・樹木などを育てることにより、高齢者がいきいきとした老後を過ごせることと、各世代が自然の大切さを知り環境問題全般に対して自発的に行動できるようにすることを目的とする。

【88】

(1)平成13年4月24日、(2)特定非営利活動法人三重県高齢者・退職者事業団(3)中西五洲、(4)松阪市京町33番1、(5)平成13年6月24日まで
 (6)設立、(7)この法人は、高齢者・退職者がその老後を健康で、生きがいを感じて、長い間に得てきた経験を社会のために生かして、自己の人生を全うするための事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

【89】

(1)平成13年4月25日、(2)特定非営利活動法人実践鈴鹿、(3)久米宏毅(4)鈴鹿市住吉1丁目13番1号、(5)平成13年6月25日まで、(6)設立
 (7)この法人は、鈴鹿龜山地区広域連合管内に居住する高齢者が自宅において良好な日常生活を継続できるような真心から具体的なサービスを提供するとともに、高齢者が安らげる社会システムを創造・発展させるための事業活動を推進し、もって県民全体の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

【90】

(1)平成13年4月26日、(2)特定非営利活動法人三重県トイレ協会(3)田川敏夫、(4)津市栄町1丁目892番地、(5)平成13年6月26日まで
 (6)設立、(7)この法人は、学校トイレをはじめ、公共トイレに関する諸問題の改善に向けて調査・研究・普及・啓発等に関する事業を行い、もってトイレ文化の創出と快適なトイレ環境の創造に寄与することを目的とする。

【91】

(1)平成13年5月1日、(2)特定非営利活動法人eco-net伊勢志摩(3)半田美永、(4)志摩郡磯部町穴川1183番地、(5)平成13年7月1日まで
 (6)設立、(7)この法人は、伊勢志摩の人々に対して、排水の浄化推進活動を通し、自然環境の再生保護に関する事業を行い、環境教育の啓発及び実践により子孫に豊かな自然を残し、もって社会全体の利益の増進に寄与する事を目的とする。

【92】

(1)平成13年5月14日、(2)特定非営利活動法人ふれあいステーション都美恵

(財)太陽生命ひまわり厚生財団社会福祉助成事業

受付締切 / 6月29日(金) 必着
助成の対象となる団体または個人 / 社会福祉の向上に寄与するという財団の目的を達成することができる非営利の民間団体。(但し、事業助成の(2)(3)(4)と研究助成は個人を含みます)
助成の対象となる活動 /

1. 事業助成
 - (1) 在宅高齢者などの福祉に関する事業への助成。
 - (2) 高齢者などの心の癒しに資する事業への助成。
 - (3) 民間ボランティアグループなどへの助成。
 - (4) 障害者の福祉に関し、啓発し、開発し、または普及深化させる事業への助成。
 - (5) 障害者に対する授産施設または小規模作業所の整備事業への助成。
 - (6) 障害者の福祉に関する事業に必要な車輛整備への助成。
2. 研究助成
 - (1) 老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究、調査などへの助成。
応募方法 / 所定の申込書に必要事項を記入し下記まで。申込書は応募申込者の団体名、住所、氏名を記入し、Faxまたは郵便で下記まで請求してください。問い合わせ先 / (財)太陽生命ひまわり厚生財団事務局
103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2 太陽生命ビル内
Tel.&Fax.03-3272-6268

(社福)NHK厚生文化事業団「わかば基金」

受付締切 / 6月30日(土) 必着
助成の目的 / 地域に根ざした福祉活動を各地で推進しているグループに支援金を贈り、活動を支援するとともに、NHKの放送で活動の様子を広く紹介して、地域福祉の向上を目指します。
助成の対象となる団体 / 地域で活発な福祉活動を進めているグループ。
(例) 地域で暮らす高齢者や障害者の日常生活を支援したり、様々なサービスを提供(在宅施設かは問いません)、障害者の社会参加や就労の場づくりを促進したり、その活動の支援。文化活動を通して、障害や年齢をこえた交流や相互理解をはかる。福祉情報の提供やネットワークづくりなどを通して、地域の福祉活動の向上につとめる。なお、法人格を持っている場合は助成対象になりませんが、NPO法人は申請できます。
助成の額 / 1グループにつき30~70万円。約20グループ支援予定。
応募方法 / 申込書を下記に連絡し、取り寄せる。
申込・問い合わせ先 / (社福)NHK厚生文化事業団 150-0047 東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル Tel.03-3481-7855
Fax.03-3481-7674 ホームページ <http://www.npwo.or.jp>
(社福)NHK厚生文化事業団中部支局 461-8725 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送局内 Tel.&Fax.052-952-7150

丸紅基金社会福祉助成事業

受付締切 / 6月30日(土) 消印有効
助成の対象となる団体 / わが国における社会福祉事業、福祉施設の運営、福祉活動などを行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。
助成の対象となる活動 / 上記団体が企画する事業案件で、下記の条件を具備するもの。明確な目的を持ち、実施主体、内容、期間があらかじめあること。助成決定から1年以内に実施が完了する予定のもの。一般的な経費不足の補填でないこと。原則として国や地方公共団体の公的補助、もしくは他の民間機関からの助成と重複しないこと。
助成の額 / 総額1億円をめぐに50件以上の助成を行います。1件あたりの助成金額は原則として200万円を上限とします。
応募方法 / 所定の申込用紙に必要事項を記入し、所定の添付書類と共に送付。申込用紙は郵便番号と住所、団体名、電話番号、Fax番号、丸紅基金の助成を知った経緯を明記し、ハガキまたはFaxにて下記まで請求してください。
問い合わせ先 / 社会福祉法人丸紅基金 100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2丸紅東京本社ビル Tel.03-3282-2474・7014
Fax.03-3282-2462 E-mail mkikin@marubeni.co.jp
ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/fund.htm>

緑の募金公募

受付締切 / 6月30日(土)
助成の対象となる活動 /

1. 【国内緑化事業関係】国内で行う次のいずれかに該当する事業。
 - (1) 2つ以上の都道府県にわたる広域的な見地から行う森林の整備(植栽、下刈、間伐などの事業)、緑化推進を目的とするイベント。
 - (2) 居住する都道府県以外で行う森林整備。
 - (3) 川上と川下が連携して行う森林整備。

- (4) その他、上記に準ずる森林整備及び緑化推進を目的とするイベントなど。

2. 【国際緑化事業関係】海外で行う次のいずれかに該当する事業。
 - (1) 砂漠防止や熱帯林再生のための造林。
 - (2) 土砂流出防止・水源かん養・新炭林造成などの森林保全管理。
 - (3) 公園・学校の植樹などの緑化。
 - (4) 苗畑整備や育苗。
 - (5) 山火事防止などの森林パトロール、被害調査などの森林保全管理。
 - (6) その他、上記事業に付帯するセミナーや給水施設整備など。

助成の額 / 一事業につき300万円を限度とする。
問い合わせ先 / 【国内緑化事業関係】社「国土緑化推進機構」緑の募金」係 102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5
Tel.0120-110381 Fax.03-3264-3974
ホームページ <http://www.green.or.jp>
【国際緑化事業関係】財「国際緑化推進センター」緑の募金」国際緑化公募係 112-0004 東京都文京区後楽1-7-12林友ビル
Tel.03-5689-3450(代) Fax.03-5689-3360

緑と水の森林基金

受付締切 / 6月30日(土)
助成の対象となる団体 / 地方公共団体(都道府県を除く)法人、その他の団体、個人で、事業を適切に完遂できる者。
助成の対象となる活動 / 1. 【普及啓発】

- (1) 森林を活用した青少年の環境教育促進のための普及啓発。
- (2) 森林・緑・水に対する国民の認識を深めるための普及啓発。
- (3) 山村地域の活性化や地域づくりの推進のための普及啓発。
- (4) 住民参加による森林づくり運動の推進のための普及啓発。
- (5) 木材需要の拡大、古紙利用推進のための普及啓発。

2. 【調査研究】

- (1) 青少年を対象とする森林環境教育に関する調査。
- (2) 学校林や学校周辺林の教育的活用のための基礎調査。
- (3) 山村資源の有効活用・地場産業の振興等山村地域活性化に関する調査。
- (4) 森林の保全・公益的機能の増進等に関する調査。
- (5) 緑化推進にかかる市民活動の推進に関する調査。

3. 【活動基盤の整備】

- (1) 青少年の環境教育の場としての森林の活用促進。
- (2) 森林づくり活動を通じた農山村と都市住民等との交流促進。
- (3) 森林整備の担い手、森林ボランティア・リ・ダ・等の養成。
- (4) 森林ボランティア活動の支援及びそのネットワーク化。
- (5) 地域のシンボリック森林の利用促進。

4. 【国際交流】

- (1) 国内で開催される森林・環境に関する国際会議への支援。
- (2) 森林・林業に関する海外との情報交換。

助成の額 / 団体200万円(特別な事業は300万円)個人100万円
応募方法 / 申請書はホームページからダウンロードすることもできます。
問い合わせ先 / (社)国土緑化推進機構「緑の募金」係 102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.0120-110381
Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

(財)ユニバーサル財団市民活動助成

受付締切 / 8月31日(金) 必着
助成の目的 / テーマは「新しい世紀の社会づくり」。高齢者を対象とした市民活動は、これからの社会を支えていくために不可欠な社会資源となっています。一方、高齢者自身の社会参加も活発になっています。ユニバーサル財団では豊かで活力ある長寿社会の実現をめざして、一人ひとりが生き生きと充実した人生を送ることができる新しい世紀の社会づくりやコミュニティ再構築などの活動に助成を行います。21世紀は、また「グローバル市民社会」と言われます。活動は国内に止まらず、世界に拡げて、助け合うことが大事ではないでしょうか。当プログラムでは、国際支援・交流などを行っている市民活動団体にも広く活動助成を行います。
助成の対象となる団体と活動 / 次の2つの項目に該当する団体。

- (1) 高齢者が活動する市民活動団体 (2) 高齢者の医療・保健・福祉、まちづくりなどの市民活動を行う団体。

助成の額 / 原則として100万円を限度とし、活動内容および規模により査定させていただきます。
応募方法 / 所定の申請書を請求。記入後、なるべく書留や宅急便にて送付。
問い合わせ先 / (財)ユニバーサル財団 160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008
E-mail info@univers.or.jp ホームページ <http://www.univers.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。 <http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。「語らいの里 嘶野(はなしの)」という施設を運営しつつ、自然環境保護に力を入れている吉田さんが紹介してくださいましたのは宮川村の「ホタルまつり」初代実行委員長である西さんです。

地域に明かりを灯したい

……西さんのお仕事は？

僕も紹介して下さった吉田さんと同じ、林業なんです。僕のところは複合経営で林業の他にワサビ栽培とアマゴなど淡水魚の養殖をしています。ワサビは父の代から始めました。

……アマゴの養殖は西さんが始めたのですか？

はい。大杉谷地区は宮川村のなかでも奥の方で、不便なところから、地域の特性というか、ここだけでしか採れないものを都会へ供給しようと考えたところ思いついたのが淡水魚だったんです。養殖しているアマゴは宮川の生態系を壊さないという意味もあり、よそからは仕入れていません。それにずっと宮川に棲んでいた魚ですから、宮川の環境に適した遺伝子がちゃんとできあがっているようです。

……生き物を相手にしていると気を抜けないでしょう？

ちょっとどこかへ遊びに行こうというわけにはいきませんね。先日も家族が海外旅行へ出かけた時に大雨が降って、この辺の溪流は増水して大変だったんです。旅行から帰ってきた妻は「あれ、水が増えてるね。雨が降ったの?」って軽く言ってきましたけど、こちらは必死で夜も寝ないで守っていたわけ。生き物の管理は一度失敗すると取り返しがつきません。魚の身になって、適切な管理をしないとイケないのです。以前、ラジオ番組に情報提供者として定期的に出演していたことがあったんですが、その時にアナウンサーの方からも「大変ですね」と同情されました。でも僕は「仕事の中に楽しみを見だしていくよう努力してます」と答えました。淡水魚もワサビも水が美しくないと育ちません。だからこれらを育てて販売することは宮川の美しさをアピールすることにもなります。ホタルもそう。僕は第1・2回ホタルまつりの実行委員長をしましたが、ホタルをアピールするということは、それが棲む美しい宮川と宮川村をアピールすることでもあるんです。

それで何か明かりを灯したいと考えて、ホタルまつりを始めました。イベントをすることで地域を知ってほしいという気持ちになってきたんですね。これは行政が企画するのではなく、自主的に住民の方から声が出てきた市民活動の典型的な形だと思います。

……西さんが最初の実行委員長ですが、企画も西さんが？
みんなで考えました。たまたま僕が年輩で、溪流の住人だったものだから、「やってくれ」といわれただけです。

……最初は大変だったでしょう？

「どうしよう…」という感じでした。ある程度のことはしないと人が来てくれないし、かといって地域外の人を呼び込むような大きなイベントはしたことがありませんからノウハウもない。みんなの知恵を集めるしかありませんから、夜も寝ずに毎晩、頭をひねりました。最後には仕事をほったらかしにしないではいけないうらいになって。当時、メンバーの一人が「久しぶりに見たら、自分の子どもが大きくなっていった」って言うんですよ。朝は仕事で早いし、夜は夜で会議。帰ってくると子どもは寝ているから、成長がわからないんですよ。僕が「うちの魚は小さくなったわ」って言い返したんですけどね(笑)。

……資金はどうしましたか？

それに苦労したんです。行政に話したところ、当時の助役さんが「例のないことだが、それは良いことだ。なんとか支援してあげる」とおっしゃってくれました。そのうえ僕、農協でお金を借りたんですよ。後のメンバーは保証人です。

……1回目はどんな企画がありましたか？

昼でもホタルの乱舞が見られる小屋をつくりました。葦で小屋をつくったんですが、来た人がびっくりしたり、感心したりしてくれました。材料の葦は住民の方に「葦を刈って、とっておいて欲しい」と回覧でお願いしたんです。たくさん、集めてくれました。

……地域の人のバックアップが大きな力になったと？

地域の手助けがあったからこそまつりが開催できたと思っています。まつりを始めて3年目に「やめようか」という声が出たんです。その時に各区を回って、お世話になった人に「どうしたらいいだろう?」って聞きました。そうしたら「せっかくここまでやったんだから、やめることあるか?」「そんなに大変なら、地域の人みんなでやったらどうか?」って言うくれたんです。それが定着したのが今の姿。まつりが13回も続いたのは住民のみなさんが支えてくれたから。またそれ支援してくれる行政の力があってからなんです。

……続けていく苦労は？

同じことを繰り返して、「なんだ、あんな程度か」と思われないうちにはいけないことですね。だから中身をどんどん検討して、時代を取り込んでいこうとしています。

……最近の人気企画は？

昨年チャレンジした竹の棒を芯にして焼くバームクーヘンとドラム缶で焼くピザは大人気でした。これは河芸町にある緑のNPO活動支援センターのニューズレターを見て、知ったんです。すぐにセンターに連絡をして、協力してもらいました。僕は組合やセンターの機関誌や気になった記事など、すべてスクラップしているんです。そうやって得た情報をベースにして、いろいろ考えられるでしょう?当日はこの企画に人が集中して大変でした。だから今年は食べに来るだけ

西 要司 さんに **聞く**

……ホタルまつりを始めたきっかけは？

平成元年に、地域の仲間16人ほどで始めました。若者は村を出て、どんどん都会に行ってしまうでしょう。寂しい思いがしますよね。

じゃなく、まつりの企画である「森林の楽校 もりのがっこう」に参加した人だけ、食べる権利がありますよということにしました。

子どもたちが自然を体感できるように...

.....ホタルまつり以外の活動を教えてください。

村内にある県立昂学園高等学校が文部省の研究開発学校に選ばれたんです。それで総合的な学習の時間として「環境ルネッサンス」という授業を設けました。その一環として、うちのアマゴ養殖とワサビ栽培を見学に来たいという要請がありました。もちろん、いろんな説明もしましたよ。この他、育成会の会長をしていた時に宮川村産の木材と子どもたちの絵を使って「大杉谷は生きたみんなの宝物」という大きな看板をつくったりもしました。ちょうど、子どもたちが学校で環境をテーマにした絵を描いたんですが、それがどれも素晴らしいので、そのまましておくのもったいないと思ったんです。看板ができあがった時には発表会をして、その横ではアマゴの放流式もしました。後、度会町の中川小学校から「稚魚を放流したい」という相談を受けて、お手伝いしたこともあります。アマゴの卵を持って行って、子どもたちに孵化から稚魚の世話まで任せました。卵から育てることで、命の大切さ、生命の変化を知ってもらえたかったです。卒業式の日、一緒に近くの川に放流しました。こういうことって、子どもたちは忘れないように思うんです。

子どもたちは今、どうしても自然から遠ざかっていますから、自然にふれられる場、指導してくれる人をつくるのが大切だと思います。

.....西さんの活動は、子どもがキーワードのようですね。

その通り、僕は大人よりも子どもを対象に考えているんです。大人に何か言うよりも、子どもたちに環境についてのいろんなことを教えていく方が大切だと思うんです。子どもにしてもそれがいつか役に立つんじゃないかな。僕が子どもの時は自然と共に育ってきました。川を覗けばたくさんアマゴやアユがいて、それらを採って遊んでいましたし、冬は冬で山芋を掘りにいったりね。そうすることで自然の豊かさ、厳しさも覚えてきたんです。でも今はそれを知らない人たちが親になっていますから、何かの形で子どもたちが自然に接することができるようにしないといけないと思います。うちの養殖場には25mほどの池があるんですが、そこは魚のつかみ取りOKなんです。溪流に親と釣りに来ても、子どもは川の中に入りたがります。でも、子どもが入ると魚が釣れないから大人は怒るんですよ。それじゃ、可哀想でしょ(笑)。池で魚を追いかけた後は、その魚を焼いて食べてもらいます。これがいい思い出になるらしく、「小さな頃、ここで食べた味が忘れられなくて」と大人になってから訪ねてきた人もいますし、魚に興味を持って、水産関係の仕事へ進んだという話も聞きました。僕はこんな風に体感する場を子どもたちに与えることが大事だと思っています。だから、今度開始する大杉谷自然学校にはとても期待しています。僕がこれまで個人でやってきたことを、今後は自然学校が組織としてやってくれるんですから。

.....大杉谷自然学校とは?

大杉地区を自然博物館に見立てて、環境教育に利用するフィールドミュージアム事業の拠点です。僕も運営に関係しているんですが、子どもから大人まで自然環境学習や様々な体験ができるようになっているほか、案内人養成なども行っていきますよ。子どもたちは今、どうしても自然から遠ざかっていますから、自然にふれられる



昂学園の生徒たちがアマゴ掴みにチャレンジしているところです。

場、指導してくれる人をつくるのが大切だと思います。僕の養魚場や山もフィールドとして使ってもらえばいいと思っています。林業として考えても、これからは環境教育のフィールドとして森林を利用していくことを必要だと考えているんですよ。産業とまではいかないかもしれませんが、未来を担う子どもたちの成長に繋がればいいし、そこを職場として数人でも働ければ更によいと思っています。

絶えず明るい話題が飛び交う地域に

.....お話を聞いていると西さんはイベントを組み立て、みんなに説明するキーパーソンの方ですね。

自分でそんな意識はないんですよ。好きだからいろんなことをしているだけです。周りも協力してくれますし、みんなが協力してくれて、最後に「良かったな」と声をかけてもらうと喜びを感じます。

.....忙しくて大変でしょう?

こういうことは背伸びしてまですることじゃありませんから。できる範囲ですればいいんです。自分で行き詰まってしまうとはどうしようもないでしょう。僕はいろんな物をつくるのも好きなんですが、自分でつくることによって創意工夫というか、創作の喜びがあります。

.....西さんの活動はすべてその延長上にあるんですね。

できた時の喜びは苦労するほど大きいと思います。いろんなことにチャレンジすることで、みんなが楽しめて、次のことに迎えればいいんです。僕は地域には絶えず明るい話題が飛び交っているのがいいと思います。ホタルまつりの時もそうでしたが、地域に明るさが欲しいというのがテーマなんです。それはホタルの光のようなすかなものでもいいんです。僕の信条は「地域があって、自分がある」。そう考えれば地域を良くしていかなくてはいけないという意識が当然、働いてきます。そうなればやはり、自然を大切にしないではいけませんと繋がっていくんです。

西 要司さん

住所 / 多気郡宮川村大字松原

Tel.05987-8-3210(自宅) Fax.05987-8-3005

ホタルまつりイベント案内 森林の楽校

とき / 6月23日(土)~24日(日)

ところ / 宮川村内各地

内容 / 23日...「夕暮れハイク・ナイトハイク」

23・24日...「モリアオガエルの観察会」「アユの観察会」「しゃくり体験」「薬草入りピザ」

24日...「クイズラリー森と遊ぼう」

各イベントの集合場所、時間、参加費などの詳細は下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 / 大杉谷溪谷ホタルまつり実行委員会事務局
Tel.,5987-8-3001

西 要司さんはこの人を **紹介** します。

橋本祐子(はしもとゆうこ)さん

大杉谷自然学校の運営協議会で西さんと共に活動している橋本さん。この他、自然観察会を主催したり、野鳥の会会員として活躍するなど、自然と親しむ方法を熟知している女性です。

編集後記

今回の後記はみなさんへのお願いです。市民活動ニュースでは朗読テープ版も製作しています。そのため、情報提供していただく際に個人の氏名や地名など読み間違いをしやすい字句にはふりがなをつけていただきたいと思います。よろしく願います。また、朗読テープ版を希望される方はお気軽に、みえ市民活動ボランティアセンターまでお問い合わせください。

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。
R100 古紙100%、白色度70%の紙を使用しています。